

水性

アサヒペン

駐車場、店舗、倉庫、工場、テニスコートなど

道路線引き用塗料

アスファルト面、コンクリート面のライン引きや区画表示に

標準塗り面積(1回塗り)

3~5㎡
10cm幅で33~50m
15cm幅で22~33m

乾燥時間

夏期/20~30分
冬期/1~1.5時間

塗り重ね時間の目安

夏期/1時間以上
冬期/2時間以上



うすめずに塗って下さい

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

2kg

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

●この容器は多少大きめにつくってあります。中身の塗料は正確な量目はいつていません。表示してある色、ツヤおよび容器の中身の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なることがあります。

商品名 水性道路線引き用塗料 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、水

特長

- 密着がよく、ケイ砂の配合により耐摩耗性に優れています。
- 乾燥が速く、作業性に優れています。
- アスファルトがにじむ心配がありません。
- 水性ですから安全で、シンナー臭もなく取扱いが簡単です。

用途

駐車場、店舗、倉庫、工場、テニスコートなど、アスファルト面、コンクリート面のライン引きや区画表示に
絶えず水がかかたり水につかるところや、いつも湿っているところには適しません。

塗装方法



- はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
- 塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアク・カビなどを取り、デッキブラシなどを使って充分に水洗いし、よく乾かします。カビはカビ取り剤で、油分は布などにペイントうすめ液をしみ込ませ、拭いてよく落とします。



- 塗料がついて困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおっておきます。



- 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため右の「下地処理の注意」にしたがって下地処理を行います。
- チョークで下書きするか、またはマスキングテープを貼って基準線を引きます。(マスキングが面倒な場合は、基準線に角材をそえて塗装すれば便利です)



- フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスイオンライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分によくかき混ぜて均一にします。



- ローラー・バケや水性ハケで塗装・線引きします。
- マスキングテープは、塗装後すぐにはがします。
- 塗装後1日以上、充分に乾燥させます。乾燥が不十分な場合、水がかかたり、雨や結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。

※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水が湯で洗って下さい。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないように注意して取扱して下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。④塗料がいつても支障がない服装で作業して下さい。⑤塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に、風通しをよくして塗って下さい。塗装後1日(夏期)~3日(冬期)以内に結露したり雨が降ったりと、ふくれ・ハガレや塗膜が溶解することがあります。⑥塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑦気温が高い時(特に夏期)に塗装する場合、塗料の表面が早く乾いてしまうので、何度も返し塗り(ハケ返し、ローラー返し)をせずに、すばやく塗って下さい。また、容器内の塗料の皮(バ)を防止するため、フタを開けたまま放置しないで下さい。⑧降雨や水洗いの後には、2日以上、下地を充分に乾燥させないと、水分の影響で乾燥が遅れたり、塗膜にふくれを生じることがあります。⑨あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗って下さい。シリコン系・フッ素系・その他特殊防水処理をした面や強化コンクリート・コーキング材の一部のものには、塗料が付着しないことがあります。⑩表示の色・ツヤは実際のものと多少異なることがあります。⑪駐車場などの使用に際しては、塗装後2時間以上(夏期)~5時間以上(冬期)乾燥させてからご使用下さい。⑫塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑬塗膜が水に濡れると、濡れ色となり濃くなる場合があります。⑭容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑮やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑯容器を落させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。

- ①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。
- ②ヒビ割れ・穴・ヘコミ・カケなどは、あらかじめセメントやコーキング材などで補修しておきます。
- ③コンクリートやモルタル面の劣化が著しく、手で触れて、手に粉がついたり、ポロポロと取れるような場合には、きれいに除去してからアサヒペン油性シーラーを下塗りして下さい。
- ④新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないよう注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

危険

- 強い眼刺激
- 遺伝性疾患のおそれ
- 水生生物に有害

救急処置 ●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300 日本製 00-1312